

学校の周りに咲く純白のヤマボウシの花も見られなくなり、梅雨明けが待たれる7月を迎えました。

先日、神石小学校元校長の村上俊二先生が、総合学習のゲストティーチャーとして来校され、5年生に「神石踊娘隊きらきら星のあゆみ」について話して下さいました。村上先生は、平成14年の団体創立から現在に至るまで、よさこ



〈元神石小学校長 村上俊二先生〉

い踊りチーム「神石踊娘隊きらきら星」の代表リーダーとして活動しておられ、地元神石高原町の方を中心とした約80名の隊員の皆さんと共に、地元を活性化し、神石高原の素晴らしさをアピールするために、全国各所で元気な踊りを披露されています。私たち神石小は、村上先生の活動やその講話から、神石高原町への愛着と誇りを強く感じていました。

神石小学校には「夢」があります。それは、神石小学校を地域の元気・文化の発信拠点とすることです。子どもたちのがんばりで、地域の人たちに感動してもらい、さらに元気になってもらいたいと願っています。今年度、本校は「広げよう 読書の輪！大作戦」というテーマで、教育魅力化向上プロジェクト事業を行います。読書活動において、昨年度「文部科学大臣表彰」を受賞した本校の取組を、校内・家庭において一層充実・発展させるとともに、子どもたちが地域に出向いて読み語りを行うなどして、読書活動を地域にも広げていく取組です。先日、そのために注文した「大型絵本」や絵本イーゼル、ワゴンが学校に届きました。



〈出番を待つ大型絵本たち〉

今月末には、じんせきの里でのミニコンサートや地域行事「夏まっさかり」へのトランペット鼓隊の出演もあります。私たちの夢に向かって、これからも歩み続けます。

校長 爲平 祐嗣